

# あなたの大切な命を守るために 子宮がん・乳がん検診を受けよう

がんは、日本人の死因の第1位であり、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。中でも、近年特に増加しているのが、女性における「子宮頸がん」「乳がん」です。でも、いざ検診に行くとなると「痛そう」「恥ずかしい」など、なかなか一歩を踏み出しにくいのが「子宮がん検診」「乳がん検診」なのではないでしょうか。あなたの大切な命を守るために、ぜひ検診を受けましょう。

## がんは早期発見が大切

がんは早期発見・早期治療で約9割が治るといわれています。特に「子宮頸がん」「乳がん」は早期発見できれば、予後が良好であることが知られています。症状が出る前に検診でがんを見つけることが大切です。

## 子宮がんとは

子宮がんには、子宮の入り口付近にできる「子宮頸がん」と、子宮の奥にできる「子宮体がん」があります。子宮頸がんは、最近特に若年化が目立ち、20～30歳代で発生するケースが増えてきています。子宮体がんは、閉経後の50～60歳代の人に多くみられ、子宮がん全体に占める割合が年々増えてきています。

子宮頸がんの主な原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）への感染です。HPVは、性交渉により感染しますが、ほとんどが自然に消滅します。しかし、感染が長期化すると、その一部が数年から数十年後にがんを発症すると考えられています。

「子宮がん検診を受けないといけないのはわかるけど、婦人科受診はちょっと不安」という方が多いかもしれません。しかし、リラックスして検査を受ければ痛みはほとんどなく、問題が無ければ10分程度で終わります。

## がんの進行程度による5年相対生存率

ステージ(進行度)	がんの種類	
	早期がん	進行がん
子宮頸がん	I期 92.3%	IV期 21.9%
乳がん	I期 99.9%	IV期 32.6%

\*相対生存率：がん以外の原因による死亡の可能性を除いて算出したもの  
(出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計'15」より)

## 10月は乳がん月間です

乳がんは、乳房の中の乳腺にできるがんで、女性ホルモンのエストロゲンと大きな関わりがあります。40歳代からの発症が急激に増加しており、日本女性の12人に1人が乳がんになるといわれ、この年代の女性の死亡原因のトップです。しかし、早期に発見・治療すれば治癒率が高くなります。また、乳がんは自分で発見できる数少ないがんでもあります。がん検診に加えて、月1回の自己触診を習慣にしましょう。

### 乳がんになりやすい人の特徴

初潮年齢が早い、閉経が遅い、初産年齢が高い、出産歴・授乳歴がない、閉経後に太った、乳がんになった血縁者(母・姉妹・娘)がいるなど

### 乳がんの自己触診法

- ①鏡に映して、乳房にひきつれ・くぼみ・ただれがないかを目で確認する。
- ②乳房全体をゆっくり触り、しこりがないか確認する。乳がんがでやすい乳房外側上部と、わきの下も同様に確認する。
- ③乳首を軽くつまんで、異常な分泌物がないかを触って確認する。



## インタビュー

(医) 清幸会  
行田中央総合病院 顧問  
健康管理センター次長  
萩原裕子さん



乳がん・子宮がんは女性特有の病気、20歳代でも発症します。しかし定期的に検診を受けることで早期発見できれば、完治につなげることができます。検診を「受ける」「受けない」では早くがんを発見し軽いうちに治すか、がんが進行して長い間不安とともに治療を続けなければならないかの大きな違いがあります。病気になると自分だけでなく、家族や周りの人も辛い思いをします。みんなの笑顔を守りたい、その笑顔を守るためにもぜひがん検診を受けてください。

### 乳がん検診

乳がん検診は、リラックスして検査を受ければ、痛みは軽くなります。また、生理が始まって2、3日後～1週間の乳房が柔らかい時期に検査を受けると痛みが和らぎます。

### 検査内容

- ①問診：問診票に記入した自覚症状の有無などを聞きます。
- ②マンモグラフィ：左右の乳房を片方ずつはさみ、圧迫してX線撮影をします。乳房を強く押さえることによって乳腺組織を押し広げ、より細かい病変を観察することができます。

### 個別検診

- ▼期間 平成29年2月28日(火)まで
- ▼申し込み 電話で保健センターに申し込み、受診券はがきが届いたら医療機関に電話で予約する。

### 医療機関名

- ・行田中央総合病院健康管理センター ☎553-2426
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111

### 集団検診

- ▼期日 【乳がん・大腸がん検診】10月17日(月)・26日(水) 【乳がん・肺がん・大腸がん検診】11月24日(水)、12月1日(木)・4日(日)
- ▼申し込み 電話で保健センターに希望する日程を伝える。
- ▼受付時間 午後0時30分～1時30分
- ▼場所 保健センター

### 子宮がん検診

#### 検査内容

- ①問診：問診票に記入した自覚症状の有無や月経などの様子を聞きます。
- ②視診・内診：医師が子宮頸部の状態をチェックします。
- ③細胞診：専用の柔らかいブラシなどで子宮頸部の細胞を軽くこすって採取し、顕微鏡で検査します。医師が必要と判断した場合に、子宮体部の検診を実施します。



- ▼期間 平成29年2月28日(火)まで
- ▼対象 20歳以上の女性(平成29年3月31日現在)
- ▼費用 【頸部検診】800円 【頸部・体部検診】1千円※70歳以上の方、市民税非課税世帯の方、生活保護受給中の方は自己負担なし(非課税世帯の方は事前手続きが必要)
- ▼申し込み 実施医療機関に電話で予約

### 実施医療機関

- 池畑クリニック ☎556-2295
- 行田中央総合病院予約センター ☎553-3360
- 野口産婦人科 ☎556-4292

- ▼対象 平成27年度に市の乳がん検診を受診していない40歳以上の女性
- ▼検査内容 マンモグラフィ(乳房レントゲン検査)
- ▼費用 800円※70歳以上の方、市民税非課税世帯の方、生活保護受給中の方は自己負担なし(非課税世帯の方は事前手続きが必要)

## ジャパン・マンモグラフィセンター (要予約)

市内在住で40歳以上の方は、800円でマンモグラフィ検査が受けられます(平成28年度乳がん無料クーポンをお持ちの方は自己負担なし)。

- ▶日時 10月16日(日) 午前9時～午後5時
- ▶場所 行田中央総合病院健康管理センター
- ▶申し込み・問い合わせ 同センター



## まずは検診に行ってみよう

いつまでも健康でいるためには、生活の中で自分の体を向けることが大切です。まずは、この機会に検診に行ってみることから始めませんか。

- ▼問い合わせ 保健センター 成人担当 ☎553-0053